

校長室より

二松学舎大学附属高等学校

校長 鵜飼敦之

「二松から飛翔へ」

夏休み 各部活動合宿実施

終業式とともに梅雨が明け、夏休みに入りましたが、暑い²日が続いています。暦の上でも「大暑」！！この夏を乗り切りたいと思います。

さて、部活動の合宿が開催されています。それぞれの目標に向けて集中して取り組んでいるようです。合宿先を訪問し、激励と活動の様子を見せてもらいました。

- ▼合気道部：山梨県山中湖村 7月25日～（2泊） ▼女子バスケ部：栃木県矢板市 7月29日～（2泊）
- ▼剣道部・理数科研究部（合同）：千葉県御宿町 7月29日～（2泊）
- ▼男女バレー部：福島県南会津町 7月31日～（3泊） ▼バドミントン部：長野県須坂市 7月31日～（3泊）
- ▼男子バスケ部：千葉県鎌ヶ谷市 8月2日～（3泊） ▼吹奏楽部：山梨県富士河口湖町 8月2日～（3泊）
- ▼ダンス部：神奈川県箱根町 8月7日～（3泊） ▼サッカー部：茨城県鹿嶋市 8月17日～（2泊）

技と心を磨く夏の合宿 ～合気道部 山中湖にて～

夏休みに入り、合気道部が山中湖畔にて2泊3日の夏季合宿を実施しました。宿舎からは雄大な富士山を望むことができる絶好の環境の中、1年生から3年生まで総勢24名が参加し、心身の鍛錬に励みました。

私が訪れたのは合宿2日目。昼食を終えた1・2年生たちは、翌日に控えた昇級審査に向け、申請書類の記入に取り組んでいました。わずかな記入ミスも許されない書類に、コーチの三宅さん（75期卒業）からは何度も書き直しの指示があり、生徒たちは緊張感の中で丁寧にペンを進めていました。

午後の稽古は、敷き詰められた畳の雑巾がけからスタートします。湿気と暑さのこもる道場の中、部長の指示のもと、入念な準備体操を行い、基本である受け身の反復練習へ。日野師範からの型の指導に続き、生徒たちはペアを組み替えながら何度も技を磨いていきます。印象的だったのは、下級生が積極的に上級生へ「稽古をお願いします」と走り寄る姿。その積極性こそが、上達への近道であるといいます。顧問の服部先生のもとにも指導を求める生徒がひっきりなしに訪れ、真剣な空気が道場全体を包んでいました。

稽古の最後は、全員での「連続受け身50本」。リーダーの力強い掛け声に合わせて、畳に響く音とともに一体感が高まり、熱気あふれる時間となりました。

合宿最終日には、いよいよ昇段審査が行われます。これまでの練習で培った技と心の成果を発揮すべく、生徒たちは集中力を高めて本番に臨んだことでしょう。そして後日、参加者全員が無事に審査に合格したとの嬉しい報告が届いています。

厳しさの中にも学びと成長があり、仲間との絆が深まる——そんな合気道部らしい、意義ある合宿でした。

